

中学校
1 年

日本と海外の文化について学ぼう

羽曳野市立高鷲中学校

教科

総合的な学習の時間

単元名

多文化理解学習

単元の目標

- 探究的な活動を通して、自分の特徴やよさを理解しようとする。（知識及び技能）
- 探究的な活動を通して、外国の生活について学び、自分との違いや共通点について考え、意見をまとめることができる。（思考・判断・表現）
- 自分や他者のよさを整理し、自身の生活に活かすことができ、実社会の問題解決に進んで取り組もうとする。（主体的に学習に取り組む態度）

本時で育む主な情報活用能力

D-STEP 4, E-STEP 4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。

単元の指導と評価の計画

	学習内容	主な評価規準【観点】（評価方法等）
第 1 時	日本人とは何か？日本で住んでいる外国人について理解を深める。	社会課題に関する課題を設定できる。
第 2 時～ 第 4 時	留学生との交流会に向け、留学生の国の文化や伝統等について資料や発表原稿を作成する。	目的に応じて、収集した資料を多面的・多角的に考察し、新たな意味を見いだせる。
第 5 時 本時	発表に向けたリハーサル	様々な相手や目的に応じて情報をまとめ、WEB 等で適切且つ効果的に表現できる。
第 6・7 時	留学生との交流会	発表実践する中で、振り返り、観点を決めて評価、改善できる。

本時のねらい

- ・国際交流会に向けた資料の作成と、資料を用いて発表する。また、資料や発表を振り返る中で、本番に向けて改善していく。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・グループで共有したスライドデータで共同編集をすることで効率的な編集作業をし、資料の流れやデザインの統一に気をつけながら資料を作成する。
- ・完成した原稿をグループで確認したり、実際のリハーサルに対してコメントをしたりすることで、他者とコミュニケーションを取りながら推敲を重ねる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・クラスルーム
- ・スプレッドシート
- ・Canva

本時の展開（ 5 / 7 時間目 ）

学習の流れ	主な学習活動と内容	●指導上の留意点 ○ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	・グループで作成した資料の確認、発表の流れについて班で確認し発表の準備をする。 ・本時の流れや目的を確認する。	○本時の流れをモニターに表示する。また同じスライド資料をクラスルームで共有しておき、生徒がいつでも確認できるようにする。
展開 (40 分)	・各班の発表（25 分） ・原稿や発表の仕方を振り返り、資料を完成させる。（15 分）	○各班の発表の仕方や原稿を見て、良かったところ・改善した方が良いところを Canva の付箋機能で共有し、自身の発表に活かす。
まとめ (5 分)	・発表に向けた準備の確認をする。	○資料を何度も推敲し改善することや、発表の練習を繰り返すことで、より良いプレゼンテーションができることを伝え、各グループで当日までに準備することを伝えておく。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

スライドを共同編集させることで、少ない時間でも、効率的かつ、質の高い活動にすることを意識しました。また、班のメンバーの進捗状況も確認できるので、声掛けや助け合いをする場面が生まれやすく、コミュニケーションが取りやすい環境を整えられると考えています。